

栗栖越夫 （以錢） 政治家、法學博士。明治二十八年七月、二十一年山口縣
生乳、昭和四十一年五月十日没（六九至一一九六）。大正七年東京帝國大
學法學部卒。日本興業銀行入行、昭和二十一年理事、翌年貴族院議員、
（二十一年參議院議員、興銀總裁、藏相。翌年昭電懸獄で逮捕せられ、
二十七年有罪確定。

著書 『新説と探る』（合著・東京毎日新聞社經濟部編、昭和十年六月）
『二十五年日本評論』、『華變下の株式市場（戰時景氣の前途觀）』（合
著・黒田重吉編、昭和十四年八月）『首都新聞社事業部』、『吉川新
報』、『百年祭記念講演集』（合著、昭和十六年十一月、二十五日齋吉
川家藏書所）等。